

多種多様なまちの
作り手たち

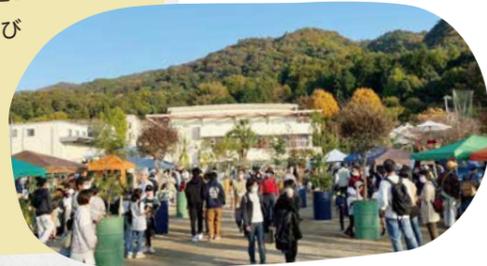
あなたとまちの関わりを 一歩すすめてみよう!

「ボタフェス」や「お城まるしえ」などのイベント名を聞いたことはありますか。これらの人気のイベント、実は市民が主体となって活動し実施されています。市民活動とひとくちに言っても、課題解決に丁寧に臨むものから社会の新たなムーブメントをつくるものまで、その形態は様々。市民がまちの作り手・担い手として能力を生かしたり、やりたいことを試してみるなど楽しみながら実施されている多種多様な活動をご紹介します。



BOTAFES

500年の歴史を持ち、日本四大植木産地に数えられる池田市細河地域。この植木の聖地、細河から「植物由来(ボタニカル)」なフェスティバル「BOTAFES」は生まれました。池田市のアイデンティティの1つである植木をフューチャーしたこのプロジェクトは、2019年に地域の多彩な市民や市民団体が中心となって立ち上がり、音楽・アート・ファッション・フード・デザインなど衣食住と伝統文化を融合し、誇り高く、喜びあふれる池田市の未来の創造をめざして活動しています。今年度は「おもしろいきる」をテーマに11/12(土)、13(日)の2日間、旧細河小学校で開催しました。一緒に活動してくれる仲間を絶賛募集中!



@botafes



お城まるしえ

池田城跡公園で2022年3月より隔月開催しているお城まるしえ。青々とした芝生が広がり、ゆるやかな時が流れる城跡公園は、子供たちが幼いころに足しげく訪れ、主宰の子育てサークル活動場所としてもお世話になりました。ところが池田市にお住まいでも訪れたことがないという方が少なくありません。素敵に利用し、その魅力をひとりでも多くの方に知っていただきたいと始めたのが「お城まるしえ」です。公園の雰囲気は決して壊さず、老若男女がのんびり楽しめる空間づくり、出店者を池田中心に集めているのがこだわり。地域のつながりの一端を担うことができれば、なお嬉しいです。今後も地域に根差し愛されるマルシェをめざします。

@otthon.ikeda(グレンチェール)



いけぼちマーケット

このイベントは「多世代交流ハッピーズ」と「NPO法人こもれび相談室」で共催しています。2団体はコロナ禍に「北摂NPO・SB支援のための緊急補助金プロジェクト」に選定され補助金を頂き、活動を継続することができました。そのご恩を胸に、様々な団体が少しでも資金を得て発展いただくための場としてマーケットを開催し池田市で活躍されている各種団体に出店いただいています。「NPO法人エコスタッフ」が第3日曜日に催している「リユースと食のマルシェ」とコラボ開催することも。団体の広報の一助となることや団体同士・市民との交流、つながりづくりで、さらなる池田市の活性化をめざしています。

@happys0701
@komorebi_sodan



もったいない + eat

大阪大学 もったいないーと

「もったいないーと」は、もったいない+eat(いーと)をつなげた造語。身近なところから食ロスを防ぐため、阪大生の有志で結成した学生サークルです!取り組みの1つ「石橋夜市」では飲食店で発生する賞味期限が近くてもまだまだ食べられる物を、地元商店街のみなさんと連携して販売。お店の方との仲が深まる嬉しさと、お客様からいただく感謝の言葉が大きなやりがいです。もう1つは「もったいないーとカフェ」。地域の農家さんやフードバンクから頂いた規格外食材を用いて、料理のメニュー開発・販売をしています。阪大生の新入部員は随時募集中です!社会課題を身近なところから解決してみたい人、ぜひご連絡ください。

@mottainaeat



池田駅前活性化 プロジェクト

阪急池田駅を中心に、五月山動物園からカップヌードルミュージアム大阪池田を含む駅周辺エリアを、もっと居心地が良く、歩きたくなる「まちなか」にするために、2021年に立ち上がったプロジェクトです。持続可能な住民参加型のまちづくりをめざして、さまざまな企業や団体、地域住民、行政とが協力しながら、イベント「おさんぽマルシェ」の開催や、駅まち周辺の将来像を描く「未来ビジョン」づくりなどに取り組んでいます。市民のみなさん、駅前で商いをする方は毎月開催のプロジェクト会議などに是非お越しください!

@ikedamachinaka(いけだエリアプラットフォーム)



みなさんも、小さな関わりから参加する。新しく何かテスト的に始めてみる、など、楽しみながらまちに関わってみませんか。トアエルでは、みなさんの「やってみたい!」気持ちを応援&支援しています。窓口やお電話等でまずご相談ください。

問合せ先: トアエル 072-750-5133
mail: info@toaer.jp

池田市断酒会

(写真左より)
井口 靖一 さん:代表
夏川 寿一 さん:企画担当



「断酒会」とは、アルコール依存症に悩む人たちが、自らの体験を語り合い、回復と自立をめざす自助グループです。半世紀近くにわたって地域に根ざした活動を続けておられる池田市断酒会のお2人にお話をうかがいました。

つながりが
「生きる」を支える

-ふだんのご活動について教えてください。

夏川:アルコールが原因となって起こる健康被害や社会生活上の様々な問題を「酒害」と呼びますが、自分の酒害体験を語り合う「例会」を定期的に開催しています。断酒会は全国各地にあり^(※)、自分が住んでいる地域の断酒会に所属するのが原則ですが、他地域との例会の行き来は頻繁に行われています。大量のお酒を飲まずにいられない人が、その習慣を断ち切るの簡単なことではありません。今まさに「止めよう」と苦しんでいる人は孤立しないことが大切で、自分の気持ちを正直に言える場が毎日でも必要なんです。病院から紹介された入院患者さんが来ることもありますし、いったんお酒を止めた人も継続的に参加しています。

-お二人はいつ頃から関わっておられるのでしょうか？

井口:平成9(1997)年から参加して、今年で25年になります。止められなくて大変だった時期が2年間ほどありました。池田市断酒会の立ち上げから関わり、初代会長も務め

た菅原春雄さんが本当に精力的な人でね。飲みたくないと思う頃に、だいたい菅原さんが電話をくれたんです。毎日のように。あれだけはすごいと思ったなあ。止めている人間には、こんな時は飲みたくなるよねというのがわかるから。お酒に誘われる機会が多くなる年末年始に、公共施設が閉まっているので例会ができないので、みんなで菅原さんの家が集まったこともあります。

医者はアルコールによる体の不調は治せても、飲酒を止めることはできません。断酒会を続けて自分の生活を立て直していくためには、お互いの話を聞いて共感しあえる環境や模範になる人の存在が重要。アルコール依存症というのは人とのつながりのなかで回復していくものなんです。

-仲間と会う、自分のことを語るといのが基本なんですね。

夏川:コロナ禍で例会が全くできなくなり、去年はLINEのグループ通話を使った例会をやってみました。顔を合わせて話をするこの大切さを痛感しましたね。

私自身は昭和63(1988)年に保健所から

池田市でうわさのあの人にtoae | 記者が
突撃インタビュー!



45周年記念大会

紹介されて関わり始めました。当時は生活に困窮している会員が多く、断酒会の活動も社会扶助的な側面が大きかった。今もそういうケースはありますが、社会的に見たら地位も収入も高い人、専門職に就いているような人もいます。言い換えれば、誰もが依存症になる可能性があるのに、個人情報保護などの理由で必要な人に情報を届けるのが難しくなりました。

-コロナ禍もそうですが、社会全体で人とのつながり方が大きく変わってきていますね。

夏川:私たちがFacebookなどオンラインでの情報発信に力を入れたいと考えていますが、病院をはじめ、行政、学校、企業、地域のご協力により、困っている人をつないでいきたいと思っています。依存症は複数の要因が重なりあって起きる病気ですし、その回復期にも、関係者が連携して多方面から支えていくことがますます必要になると思います。「この世に一人の酒害者を残さない」が断酒会の基本理念。究極の理想は、断酒会が要らなくなることなのかな(笑)。

※全国断酒連盟に加盟している地域断酒会および都道府県連合会は北海道から沖縄まで合わせて約600、会員数は6,400人(家族会員を含めて10,000人)(2020年時点)



毎年恒例の「研修会」では市内外から集まった仲間の体験談を聞きあう。今年の研修会はコロナ禍で3年ぶり、会場となった陽松庵(池田市吉田)とオンラインをつないだハイブリッド形式で9月に開催された。写真右奥の祭壇に飾られている写真は、「断酒人の墓」(五月山霊園)に納骨もしくは分骨されている方々のもの。



断酒人の墓

依存症とは

特定の物質や行為・過程に対して、やめたくても、やめられない、ほどほどにできない状態をいわゆる依存症といい、代表的なものとしてアルコール・薬物・ギャンブル等のほか、2019年には「ゲーム障害」がWHO(世界保健機関)により新たな依存症として認定された。依存症の診断には専門的な知識が必要で、そのことによって本人や家族が苦痛を感じているかどうか、生活に困りごとが生じているのかがポイントになる。

コロナ禍と依存症

依存症は、「孤独の病気」とも言われ、コロナ禍による移動・交流の制限や生活様式の変化、将来への不安などが依存症に悪影響を及ぼしている実態について様々な指摘がなされている。日本最大のアルコール依存症治療機関である久里浜医療センターでは2020年の電話相談が前年の1.5倍に増加^(※1)、また民間調査ではコロナ禍でゲーム障害、ネット依存傾向の割合は1.5倍以上増加したという報告もある^(※2)。
※1 NHKクローズアップ現代プラス(2021年6月16日放送分) <https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4558/>
※2 <https://www.kddi-research.jp/newsrelease/2021/101202.html>

依存症の相談を受け付けている行政機関

池田保健所
住所:池田市満寿美町3-19
電話:072-751-2990

大阪府こころの健康総合センター
住所:大阪市住吉区万代東3-1-46
電話:06-6691-2811
<http://kokoro-osaka.jp/>



民間医療機関、自助グループの一覧など

依存症対策全国センター
<https://www.ncasa-japan.jp/you-do/>



<インフォメーション・問合せ先>

池田市断酒会
mail:danshu_ikeda@yahoo.co.jp
電話:072-761-2549(菅原さん)



Facebook

●例会のスケジュールは以下のとおり
日時:第1・3・5 金曜日 19:00~21:00
場所:池田駅前北会館

日時:第2・4 月曜日 19:00~21:00
場所:第2月曜日/池田駅前南会館
第4月曜日/石橋会館

※コロナ禍で時間変更の可能性あり、家族向け例会もあり



交流センター 利用者の声 ご紹介コーナー

利用報告書に寄せられるみなさんの声の中には、市民活動交流センターの指定管理者として耳が痛いものもあれば、飛び上がるほど嬉しいものもあります。みなさんの意見を代弁しているものがあるかも?! センター利用者の生の声をご紹介します。



消しカスを捨てるゴミ箱が欲しい。

館内各部屋、スペースにはゴミ箱を設置していないため、消しカスをまとめられるミニ紙箱を裏紙で作りました。1階窓口や2階フリースペースに置いてありますのでご利用ください。

トアエル



キッズルームのボルダリングがたのしいです。



たのしんでくれてウォンパットちゃんも嬉しいことでしょう。

トアエル



勉強中はキッズスペースの音がうるさく感じます。

本館ならびに2階のフリースペースは、交流を楽しんでいただくための場所になっています。人との交流、知識との交流…様々ありますが、どうぞ来館者のみなさんお互いを思いやり、ゆずりあってお使いいただきますようお願いいたします。

トアエル

2階に自動販売機があるのが嬉しい。夏も水分補給できて助かりました。災害時も活躍するようで頼もしいですね。

トアエル

定期的な販売ドリンクの入れ替えがあるようです。あたたか〜いラインナップが今から楽しみです♪



2階フリースペースに窓に面しカウンターが勉強や読書にびったりで気に入っています。スタッフの人が掃除をしている姿を見て、だからいつもキレイなんだとありがたく思いました。また来ます!



トアエル

気持ちよく使っていただくために掃除・消毒に心を配っているスタッフの1人が「がんばってよかった〜!」と喜んでいました。努力に気づいていただきありがとうございます!

オンライン会議のために、お部屋と共にプロジェクターなどもレンタルしましたが、部屋に入れてくれていたおかげで素早くセッティングして会議がスタートできました。ありがとうございます。



トアエル

あらかじめ窓口でレンタル予約をしていただくと、利用当日にお部屋までご準備できます。使い方がわからない物品もスタッフがレクチャーしますのでお気軽にご相談ください。レンタル品一覧は前号のトアエルをご覧ください。

館内が明るくていい。所々にうすい緑色が使われていたりして、ツナガリエと似た雰囲気。居心地がいいです!



トアエル

いい雰囲気は設備由来だけでなく、来館者のみなさんによるところのものも大きいと感じます。これからも一緒にいい環境を作っていきましょう!

来館者からのご感想、ご意見のひとつひとつがスタッフの励みとなります。いただいたご意見をもとに、市役所や来館者と対話を重ねながらより良いセンター環境やサービスの改善につなげていきます。今後みなさまからの様々なご意見・ご感想をお待ちしています!

綾羽2丁目町会としては昭和46年に設立され、綾羽2目と新町の一部の方が加入しています。伊居太神社に穴織大明神(あやはだいまようじん)が祀られていることから名付けられた綾羽町にあるこちらの町会について長らく会長を務めている内藤さんにお話を伺いました。



こども神輿

元気にみんなで助けあう

伊居太神社の近くに町会事務所がある綾羽2丁目町会。町会費は年間2,000円で、加入世帯数は138件。地域のほとんどの世帯が加入されています。

町会では清掃活動や回覧板の作成をしたり、秋には「こども神輿」の町内巡行*や池田小学校区合同の防災訓練*を実施。年末には町会・防災会・こども会の合同で夜警(町内パトロール)を行い、参加する子どもたちに地域のことをより知ってもらったり、親睦を深めておられます。

敬寿会では、事務所でカラオケ大会をしたり、2カ月に1度食事会を開いたり、月1回の清掃活動を行なっています。子ども会では希望者を世界遺産の



子ども会のキャンプ

大峯山(奈良県)へ案内するレクリエーションもありました。

*ここ数年はコロナ禍のため中止

隣人助け合いの精神を今に受け継ぐ綾羽2丁目町会をリサーチ!



内藤 勝さん:会長

新規加入者welcome!

町会内はもちろん、新町会と連携してワクチン接種会場を設置するなど、横のつながりも大切にしておられます。新しく戸建て住宅に引越してきた方で隣近所の人に「会長さんはどなたですか?」と訪ねてわざわざ挨拶に来てくださる方もありますね」と内藤さん。「ゴミ出しや防災など、暮らしのことで分からないことは何でも聞いてね、というスタンスです」と池田市に新しく来られた方を歓迎しつつ地域のルールをお伝えされていることが伺えます。

子ども会が縮小傾向にある昨今ですが「会員が少なくとも子どもに何かしてあげたい。状況が許せば、コミュニティの場を広げるなどの親睦行事を再開して、たこ焼き等で皆さんを喜ばせたいですね」と内藤さん。町会のみなさんを思い浮かべながら楽しそうに語るそのお顔に、顔の見える関係の大切さを改めて感じました。



子ども会の耐寒登山

〈綾羽2丁目町会と関わりの強い団体の紹介〉

敬寿会(老人会) / 綾羽2丁目防災会 / 子ども会

〈綾羽2丁目町会への加入方法〉

会長又は地区役員へ直接連絡を

〈インフォメーション〉

綾羽2丁目町会 TEL / 072-753-9457(会長 内藤)



加入・設立するには 加入は引越の際に不動産会社から情報を得ることが多いようですが池田市コミュニティ推進課でも問い合わせに対応されています。設立するには、対象エリアを決めて名簿、規約などを作成するのが一般的です。設立した際は池田市役所に一報ください。